

事務事業名 ファイナンシャルプランナー活用事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1692

施 策：	01	計画行政と効率経営の推進	財務コード	01020302-07-098
基本事業：	03	自主財源の確保	担当部	市民生活部
基本事業の 成果指標	①収納率（市税等） ②収納率（使用料及び負担金等） ③ふるさと応援寄附金収入額（計画期間内累計）		担当課	収納課
			担当係	収納担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度			平成26年度 ～			新規・継続		継続		会計区分		実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）						2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
納税義務者						収支バランスの崩壊、収入不足、多重債務、各種ローン、事業不振などの問題を解決し、納税に回せる資金を生み出し担税力を確保するとともに、納税意識の高揚を図るために、専門家であるファイナンシャルプランナーへの無料相談を実施している。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						【相談場所】 市役所内の相談室 【開設時間】 6月～3月まで原則月1回（全10回） 偶数月:13時～18時、奇数月:15時～20時 【相談内容】 収入支出のバランス、多重債務、ローン軽減、資金調達等 【申込方法】 開催前日までに予約（当日、空きがあれば相談可） 【周知方法】 催告書に案内のチラシを同封・納税相談時に案内 ※相談時には、職員が同席し、FPのアドバイス・指示等を確認し、相談後の進捗状況の把握に努めている。							
納税困難となる原因が、金銭的な資力等があるため、ファイナンシャルプランナーの指導により、収支の改善等を図り担税力を確保してもらう。													
4. 成果（簡易評価は未記入）													
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標			
相談可能枠に対する稼働率（キャンセル含まない）			%	77.2	52	80	80			80			
相談によって納付された額			千円	2,581	2,267	2,267	2,267			5,000			
5. コスト													
事業費			計	千円	660	468	468	468					
			国	千円		0	0	0					
			県	千円		0	0	0					
			地方債	千円		0	0	0					
			その他	千円		0	0	0					
			一般	千円	660	468	468	468					
正職員人工数			人工	0.3	0.3	0.3							
正職員人件費			千円	2,318	2,345	2,407							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	2,978	2,813	2,875	468						
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）													
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）			【状況】稼働率を高めるため令和5年度から相談枠を縮小し、令和5年度は50枠に対し43件の予約があったものの、キャンセルが多く発生し、実施件数は26件となっています。令和5年度内に収納に結びついた金額は、314千円減少し2,267千円でした。 【課題】窓口での市民等への案内については、高額事案のみならず、対象者拡大の検討を行います。また、各債権管理課に対し各債権の滞納案件についても積極的活用を呼びかけるなど全庁的な活用が課題です。										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）													
対象動向	維持	類似事業	なし										
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし										
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし										
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり										
成果向上余地	中程度												
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了							
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）													
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						■備考・特記事項 or 進行管理欄							
納税意識はあるが納税できない原因として、収支バランスの崩壊、体重債務、各種ローン、事業不振などで納税資力がないことが多い。それらを解決できれば、納税の公平性、税収確保も図ることができるという点から事業を開始した。													